

平成 25 年 3 月 11 日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

松本 大 著『お金のという人生の呪縛について』発売について マネックス証券 CEO 松本 大による仕事と人生の常識から解放されるための 57 のメッセージ

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）代表取締役社長 CEO 松本 大による著書『お金という人生の呪縛について』が、下記の通り、株式会社幻冬舎より発売されましたので、お知らせいたします。

本書は著者のお金、仕事、経済についての考えや、日頃実践していること、意識していることをまとめたものです。「仕事に優先順位はつけず」「仕事の整理法も考えず」「夢も目標も曖昧にしたまま」、目の前にある仕事に徹底的にのめり込む。すると、前へ進む慣性が働き、目の前に新しい地平が広がる——といった、著者の仕事への向き合い方の“根っこ”を構成するユニークな考え方を 57 のメッセージで明らかにしています。働くということ、仕事とは何かを考えるきっかけになる一冊です。

記

1. 書籍概要

書籍名： お金という人生の呪縛について

著 者： 松本 大（マネックス証券代表取締役社長 CEO）

発行日： 2013 年 3 月 10 日

価 格： 1,365 円（税込）

出版社： 株式会社幻冬舎

目 次：

第1章 仕事から経験を積み、経験を知恵に変える。

第2章 有限な時間を有効に活用する。

第3章 日々の中で小さな改革を。

第4章 個人として経済に参加する。

第5章 忘れないと新しいものは覚えられない。

第6章 世界の中で個人として生きる。



《表紙イメージ》

2. 書籍内容紹介

「自分はお金もないし、きらびやかな人脈もないし、まあ頑張れば人よりちょっと仕事はできるようになるかもしれないが、社会に出たら小さい歯車になるしかないな、オヤジより少しはいい歯車になって社会に組み込まれて安定した人生を生きていこう。」そう思っていた大学生が外資系金融の世界に飛び込み共同経営者となり、今度はその立場を捨てて自ら理想の金融をつくるために起業する。そんなストーリーの起点は友人のお母さんのふとしたひと言で「お金の呪縛」から解き放たれたことにありました。本書は、軽やかに自由に世界を相手に仕事に邁進し続ける著者を支える考え方や意識の持ちようを 57 のメッセージで明らかにしています。

「私は歩き続けて進み続けて、そうすることによってまわりに変化が起き、その変化を感じる中で考えていくタイプです。一般的な意味での Thinker ではありませんが、行動派 Thinker、街中 Thinker です。

そのような行動派 Thinker にとってあらゆるしがらみから解き放たれた状態で、自然体で前傾姿勢で進んでいくことは理想であり、自分として意味のある生き方をする必要条件です。そして様々な縛りの中で、お金の呪縛は最も大きいもののひとつであり、また観念的にもっとも簡単に解き放たれることの可能なもののひとつだと思います。」

(『お金という人生の呪縛について』「おわりに」より抜粋)

4. 著者略歴

1987年東京大学法学部卒業。ソロモン・ブラザーズ・アジア証券会社を経て、ゴールドマン・サックス証券会社に入社。1994年当時同社史上最年少でゼネラルパートナーとなり、東京支社の為替・債券部門の共同責任者としてリスク管理およびプロダクトを担当。

1999年4月にソニー株式会社との共同出資で株式会社マネックス（旧マネックス証券株式会社）を設立、2004年8月には日興ビーンズ証券株式会社との経営統合により、マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社（現マネックス証券株式会社）が発足、代表取締役社長 CEO となる。現在、事業持ち株会社であるマネックスグループ株式会社およびマネックス証券株式会社両社の CEO を務める。

本書についてはマネックス証券ウェブサイト (<http://www.monex.co.jp/>) でもご案内しております。(当社代表取締役社長 CEO 松本の著書の紹介であり、マネックス証券が本書籍を販売するものではありません。)

以 上

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資
顧問業協会

【お問合せ先】

マネックス証券株式会社 営業企画部 PR 担当 松崎 電話 03-6667-3597